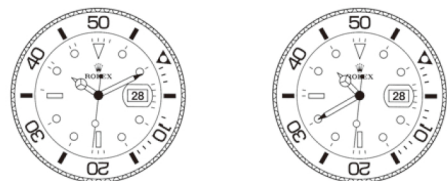


## ミルガウス

ミルガウスの全ての部品は、強い磁場のもとでも、優れた性能を発揮します。ムーブメントは、100m防水のオイスターケースの内側に取り付けられた、磁気シールドにより守られています。通常の時計が約100ガウスの耐磁性に対し、ミルガウスは、それを大きく上回る、最大1000ガウス(約80,000A/m)までの磁力に耐えることができます。

## サブマリーナー

サブマリーナーは水深300mまでの防水が保証されており、一方のみ回転するベゼルは、水中での経過時間を計ることができます。



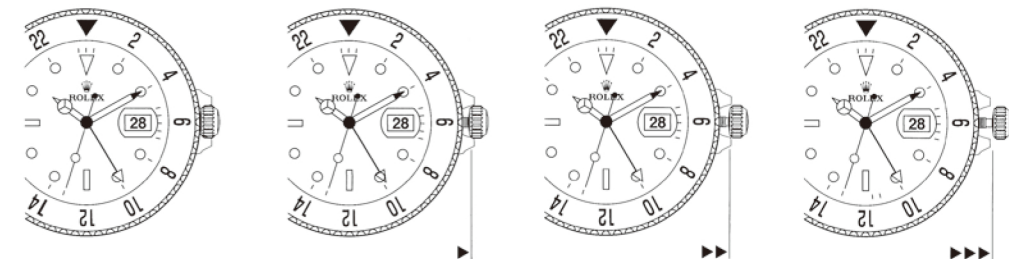
ベゼルの左に回して、ベゼルの上の▼マークを分針の位置に合わせます。

30分経過後は、左図のようになり、経過時間を知ることができます。

## シールドウエラー

ダイバーが水面に浮上する時など、時計の内部と外部の圧力に大きな差ができると、時計が故障する恐れがあります。これを回避するため、シールドウエラーにはヘリウムを排出するためのバルブが付いています。また、1220m/400フィートまでの防水が保証されており、回転ベゼルは一方のみ回転し、使用方法はサブマリーナーと同様です。

## GMTマスターII/エクスプローラーIIの使い方



### リユーズ位置0

リユーズが十分にねじ込まれている状態です。リユーズがこの位置にあるときに100m防水となります。



### リユーズ位置1

リユーズを手前に回し、緩めたこの状態のときにゼンマイを巻くことができます。



ゼンマイを巻くには、リユーズを前方に回して下さい。

注意点: 使いはじめは、ゼンマイを十分に巻いて下さい。

## ヨットマスター

ヨットマスターは、水深100mまでの防水が保証されており、スポーティーで、かつエレガントな時計です。両方向に回転するベゼルは、経過時間を計ることができます。使用方法はサブマリーナーとほぼ同様です。

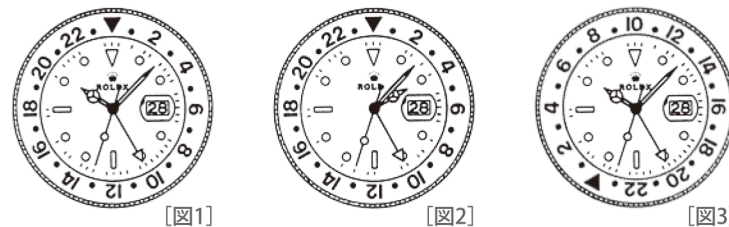
## GMTマスターII

GMTマスターIIは、地上の異なる任意の2カ所の時間を同時に示すことができる時計で、航空会社のパイロットの要望により開発されました。回転ベゼルと24時間針がついており、通常の短針(時計針)は、12時間に1回転し、文字板上に時間を示します。また、この短針は単独で動かすことが可能です。先端が三角形の24時間針(赤い針)は、24時間に1回転し、ベゼルの上時刻を示します。単独で動く短針により、簡単に時間や日付を変更できます。(日付の巻き戻し、早送り)は短針を動かして行います。)短針の操作は、リユーズを一段引き出した位置で行い、短針を24時間分まわせば日付が1日変わります。

## エクスプローラー・エクスプローラーII

エクスプローラーは、1953年エベレスト初登頂を成功させた遠征隊のために開発されたモデルです。以降、世界中の探検家たちにその丈夫さと信頼性が証明されています。エクスプローラーIIは、エクスプローラーの諸機能に加え、日付・24時間針と24時間目盛り入りベゼルと単独で操作できる短針(時計針)が装備されています。洞穴学者のように地下で作業をする人々は、時間の観念や特に昼夜の観念を失いがちです。このような場合に24時間針と24時間目盛り入りベゼルの観念が便利です。また、地球上の任意の2ヶ所を同時に知ることができるので、海外旅行や海外出張などには大変便利です。

## GMTマスターII/エクスプローラーIIの使い方



GMTマスターIIは、短針のみを単独で動かすことができるため、時間や日付の変更が簡単にでき、文字板上に通常の長短針で目的地の時間を表示するのに便利な時計です。短針の操作はリユーズを一段引き出した位置で行い、短針を24時間分まわせば日付が一日かわります。時差のセットは次のように行います。

たとえば、午前10時7分33秒過ぎに東京を発ってロンドンへ向かうとします(図1)。時計をロンドン時間に合わせる場合、短針を時差分(針の進行と逆方向に8時間分)まわします。この時、文字板上に長短針が示す時間がロンドンの時間です(図2)。即ち、午前2時7分33秒です。文字板上の日本時間を示す長短針が動くと同時に24時間針も動き、日本時間とロンドン時間を常に、同時に示します。分針、秒針はいずれの時間帯にも共通で時差のセットによる影響はありません。東から西へ行く場合(例:東京からロンドンへ)は短針を逆方向にまわし、西から東へ行く場合(例:ロンドンから東京へ)は短針を進行方向にまわします。回転ベゼルの▼のマークを文字板の▽のマークに合わせると、24時間針が示す回転ベゼル上の時間が日本時間となります(図2)。即ち、午前10時7分33秒です。

さらにベゼルの回転させて時差のセットを行うと、第3の場所の時間を知ることができます。たとえばニューヨーク時間を知りたい場合、まず時差表でニューヨークが日本より14時間遅れであることを知り、ベゼルのベゼル上の24時間目盛(14時間分)右回りにまわします(図3)。即ち、前日の午後8時(20時)7分33秒過ぎです。国際電話や、第3の時間帯への小旅行の時などはこの方法が便利です。ベゼルの▼のマークを文字板の▽のマークに合わせれば、又日本時間に戻すことができます。

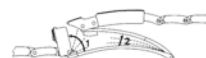
(注1)短針を単独で操作する場合、夜中の12時に近づくとも日付が半分かわった状態になることがありますがその場合は日付が完全にかわるまで針をまわし続け、その後希望の時間に針をセットして下さい。

(注2)短針と24時間針を同調させるには、短針を進行方向に日付がかわるまでまわします。次に短針を逆方向にまわし、回転ベゼル上の24時間針が指している時間と同じ時間(文字板上)にセットします。午前と午後のセットを正しく行って下さい。

(注3)エクスプローラーIIは、ベゼルが回転しませんので第3の時間帯の操作はできません。

## ブレスレットの調節方法

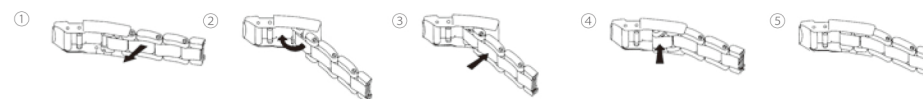
オイスターロックブレスレットは、以下の方法で長さを調節することができます。



伸ばす場合



短くする場合



セット完了後は、防水性を確実にするため、必ずリユーズが十分にねじ込まれていることを確認して下さい。

日付の早送りを午後に行う場合や、日付の巻き戻しを午前に行う場合は、短針(時計針)をもう1周回すことを忘れて下さい(午前と午後を間違えて合わせると昼の12時に日付が変わってしまいます。)